

垂直収納扉金物 コンセプト 25/30 (木扉用)

部品セット品番
コンセプト 25 : 27648
コンセプト 30 : 27649

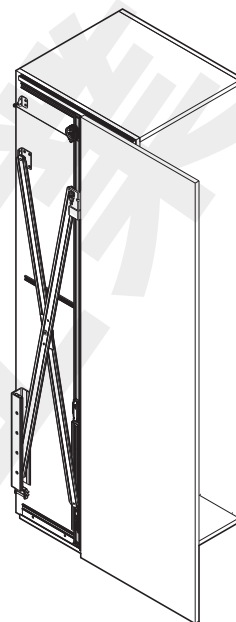
このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。取付作業前に本書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。取付後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- 開いた扉を垂直に収納し、スペースを有効に活用できる金物です。
- 金具はキャビネットの中帆立 (仕様により側板・キャビネット) の外側に取付けます。
- 左吊元、右吊元ともに部品が共通です。

取り付けできる扉

	コンセプト 25	コンセプト 30
質量	25 kg 以下	30 kg 以下
幅	300 ~ 750 mm	300 ~ 900 mm
高さ	1250 ~ 1850 mm	1851 ~ 2300 mm
厚さ	19 ~ 50 mm	
最大引込量	577 mm	827 mm



正しく安全に取り付けていただくために

図記号の意味



⚠ 警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。

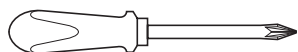
- ⚠ 本製品の取付工事は、知識、経験のある方が本書に従い正しく行ってください。取付けに不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ⚠ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐える強度のキャビネットを製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、上レールや扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊘ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

⚠ 注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

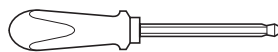
- ⚠ 各部の調整には、必ず手回しのドライバーを使ってください。電動ドライバーなどを使用すると、部品が変形・破損するおそれがあります。
- ⚠ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。板の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ⚠ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずが上レールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ⚠ 本製品は家具を構成するための部品です。取付終了後に、最終製品としての機能および安全性をご確認ください。また、使用者へ家具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- ⚠ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください (お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください)。
- ⚠ 本製品を取り付けたキャビネットを移動する場合は、必ず扉を外してください。
- ⚠ 本製品を取り付けるキャビネットの背板は壁に固定してください。

必要な工具

・Z型プラスドライバー  PZ2



・六角レンチ  3
(ボールポイント式)



・金属用のこぎり
(アルミ材を切ります)



・カッター



留意点

- ・製品は左吊元、右吊元共用ですが、本書は左吊元仕様で説明します。
- ・ガイドレール等の部品を取り付ける中帆立（仕様により側板・キャビネット）はメンテナンスができるよう、取り外せる構造にしてください。
- ・製品が支障なく動くよう、機構部取付面や扉の反り、ねじれを2 mm以内にしてください。
- ・取付方法を動画でもご覧いただけます。作業順序は異なりますが（本書の順序を推奨）、作業内容の確認などにお役立てください。

説明動画



H A W A - コンセプタ 25/30 (木扉用)

■ 部品セットの内訳 品番：27648 (コンセプタ25)、27649 (コンセプタ30)

No.	形状	部品名	寸法	品番	コンセプタ25	コンセプタ30
①		連動バー	1800 mm	22055	1	—
			2300 mm	24699	—	1
②		フロントガイドレール	490 mm	25592	1	1
③		リアガイドレール	420 mm	25596	1	1
④		クロスアーム	880 mm	22592	1	—
			1480 mm	22593	—	1
⑤		リアブラケット		25855	1	1
⑥		ガイドバー	860 mm	22861	1	1
⑦		ソフトクローズヒンジ		27652	3	3
⑧		ガイドレール	728 mm	24533	2	—
			896 mm	24535	—	2
⑨		引込みワイヤー		25796 (カバー:黒)	1	—
				25795 (カバー:グレー)	—	1
⑩		引込みダンパー		25828	1	1
⑪		ブラシシールセット (ブラシシールベース、 ブラシ、ブラシクランプ)		25815	1	1
⑫		ローラー		25656	2	2
⑬		ストッパーA (左上/右下用)		27657	1	1
⑭		ストッパーB (右上/左下用)		27658	1	1
⑮		カバープレート		24739	1	1

No.	形状	部品名	寸法	品番	コンセプタ25	コンセプタ30
⑯		エンドダンパー とキャップ		25862	1	1
⑰		皿タッピンねじ 4.5×20		22451	22	22
⑱		皿タッピンねじ 4×16		25935	10	10
⑲		ダンパー		24661	1	—
				24660	—	1
⑳		六角レンチ 呼び3 (ボールポイント式)		13164	1	1
㉑		なべタッピンねじ 4×16		25562	7	7
㉒		引込みワイヤー用 フック		25836	1	1
㉓		取付治具 (ストッパー)		25808	1	1
㉔		ねじれ防止プレート		27704	1	1
—		使用しません		25809	1	1

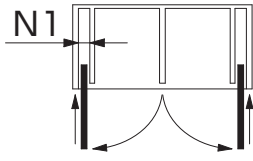
オプション ※2		連結ブラケット (55 mm幅)	650 mm	(23221)	—
			900 mm	(23222)	—
		連結ブラケット (110 mm幅)	650 mm	(23223)	—
			900 mm	(23224)	—
	ガイドローラー		(25680)	—	

※1：⑯エンドダンパーは左吊元用に組み立ててあります。
右吊元用にはダンパー部を反対側へ組み替えてください
(P.14参照)。

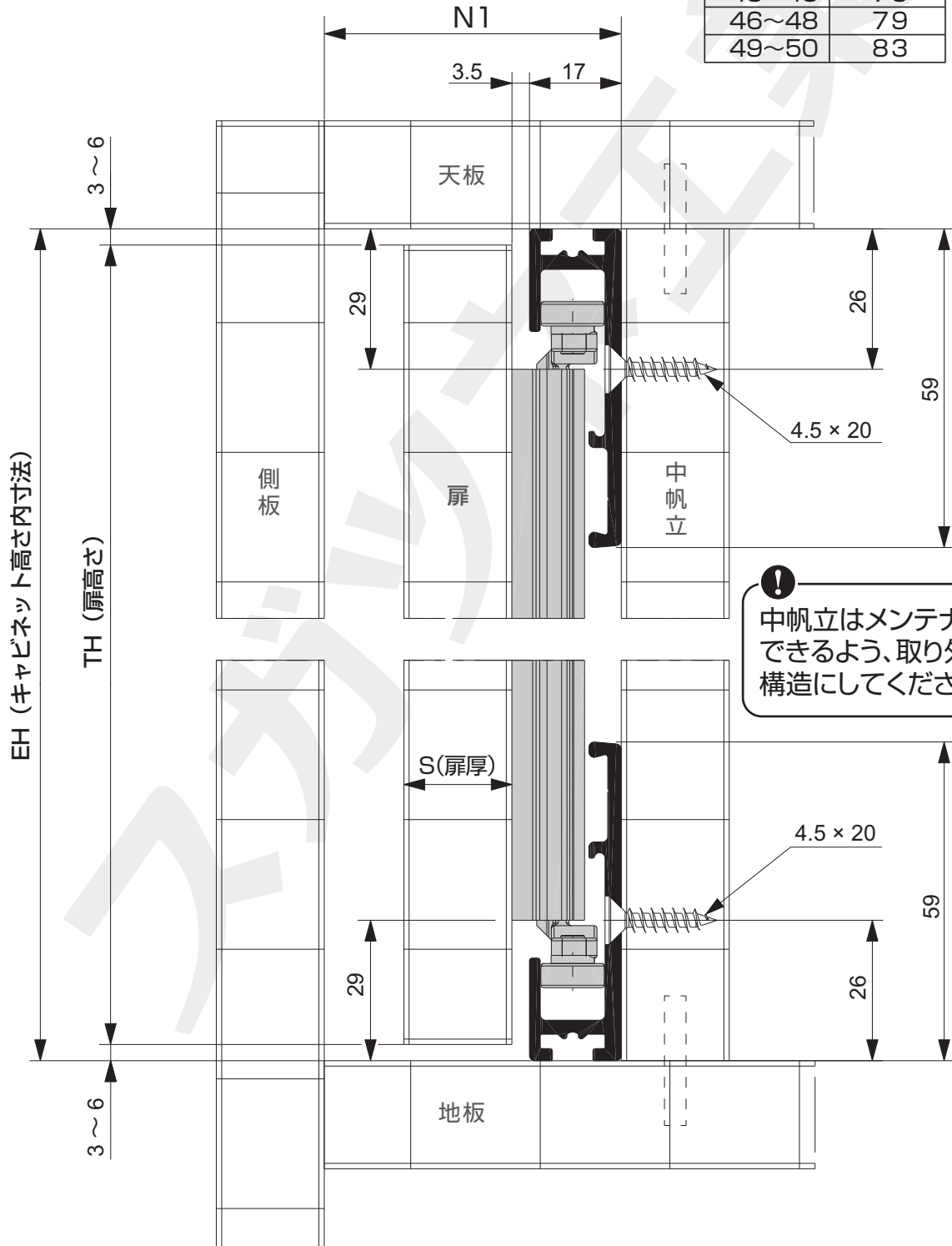
※2：連結ブラケットはキャビネットの上下に取り付けるので2本必要です
(P.6参照)。

H A W A - コンセプタ 25/30 (木扉用)

キャビネット内に扉を収納する仕様



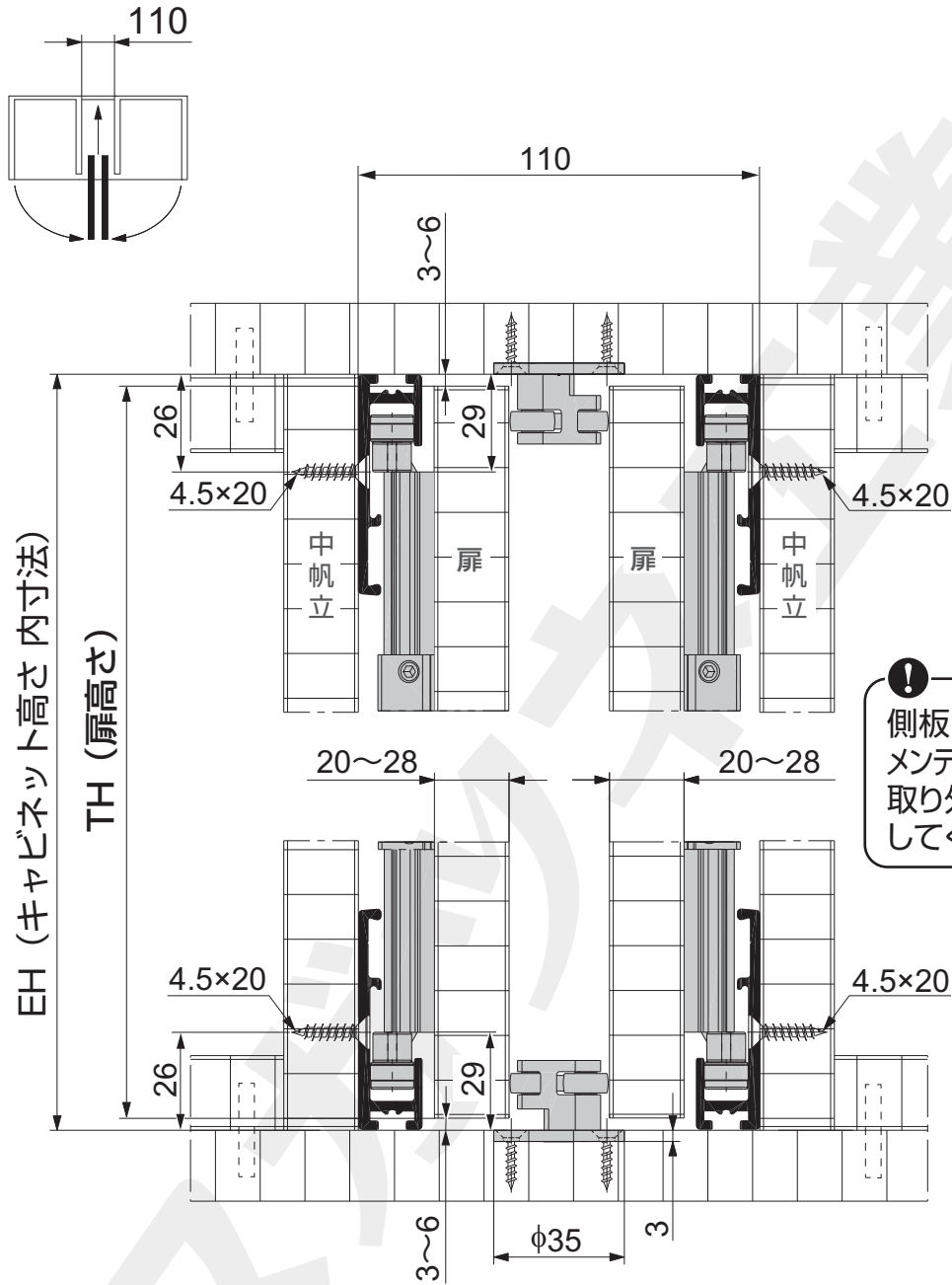
S(扉厚)	N1
19~30	55
31~33	58
34~36	63
37~39	67
40~42	70
43~45	75
46~48	79
49~50	83



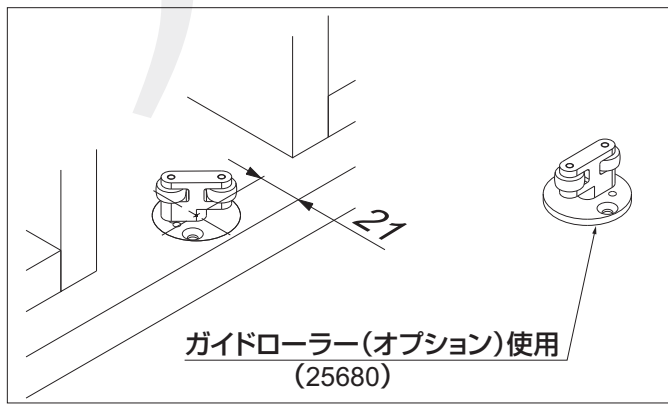
⚠ 中帆立はメンテナンスできるように、取り外せる構造にしてください。

H A W A - コンセプタ 25/30 (木扉用)

キャビネット内に複数の扉を収納する仕様
(扉厚 20 ~ 28 mm のみ可能)

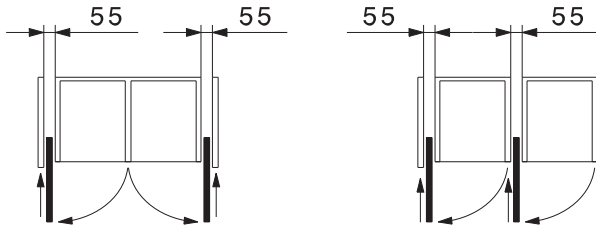


側板(キャビネット)はメンテナンスできるように、取り外せる構造にしてください。

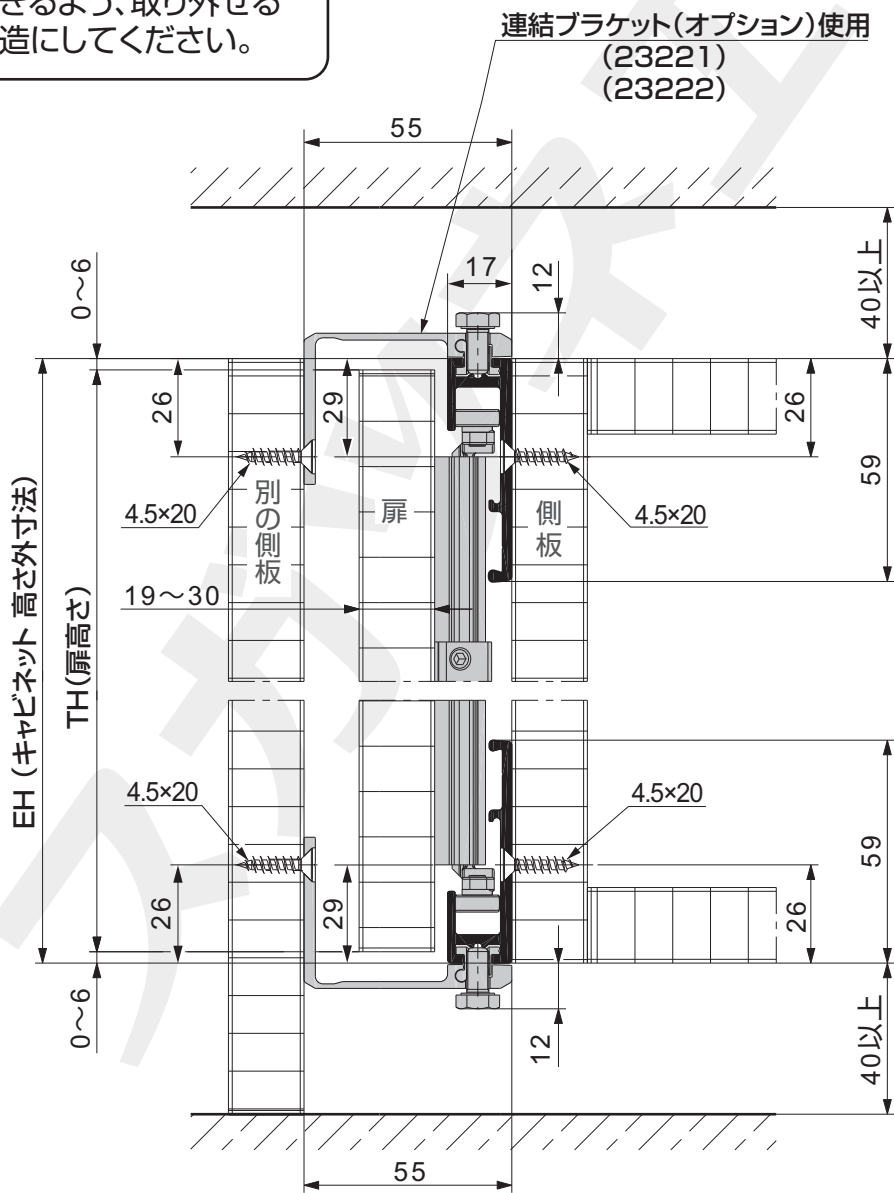


H A W A - コンセプタ 25/30 (木扉用)

側面外側をキャビネットとは別の側板で覆う仕様
(扉厚 19 ~ 30 mm のみ可能)

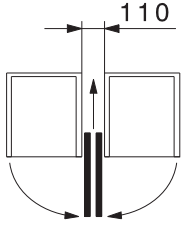


❗
別の側板はメンテナンス
できるように、取り外せる
構造にしてください。



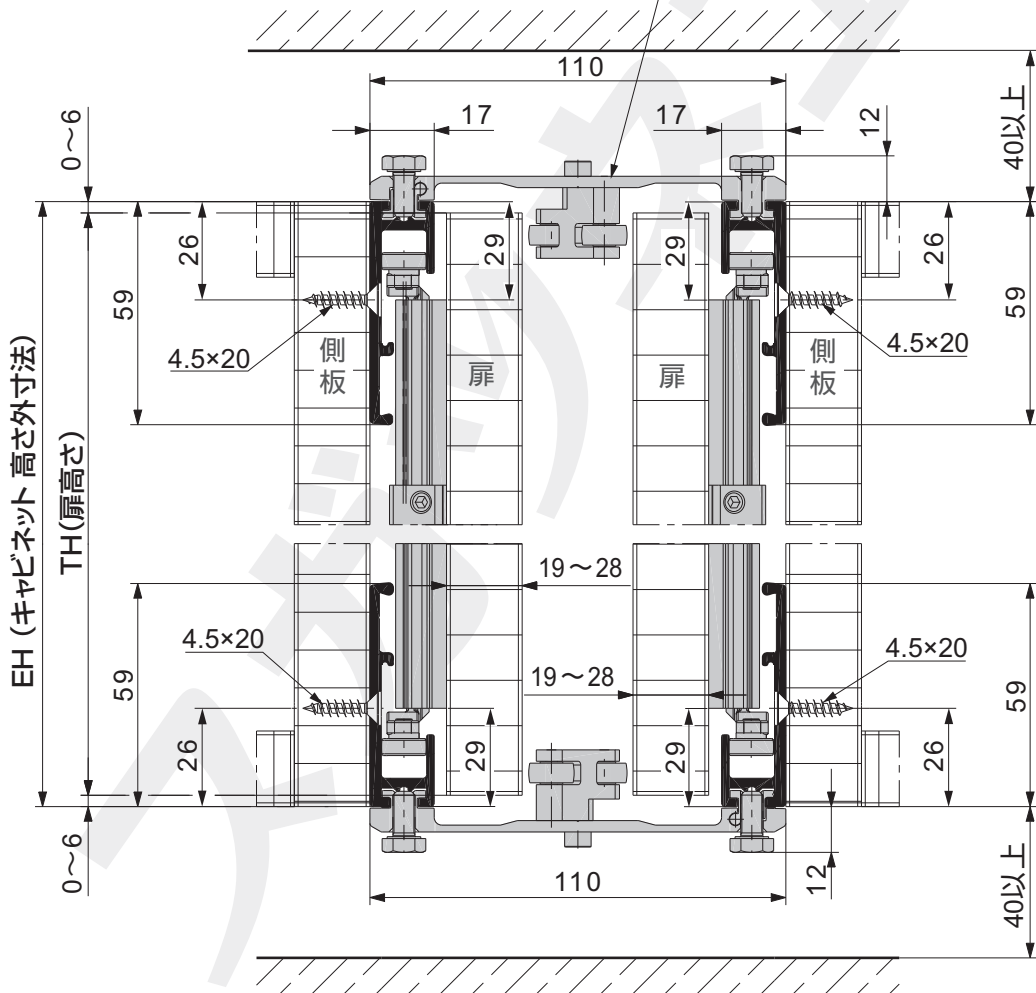
HAWA - コンセプタ 25/30 (木扉用)

隣同士のキャビネットを連結する仕様
(扉厚 19 ~ 28 mm のみ可能)



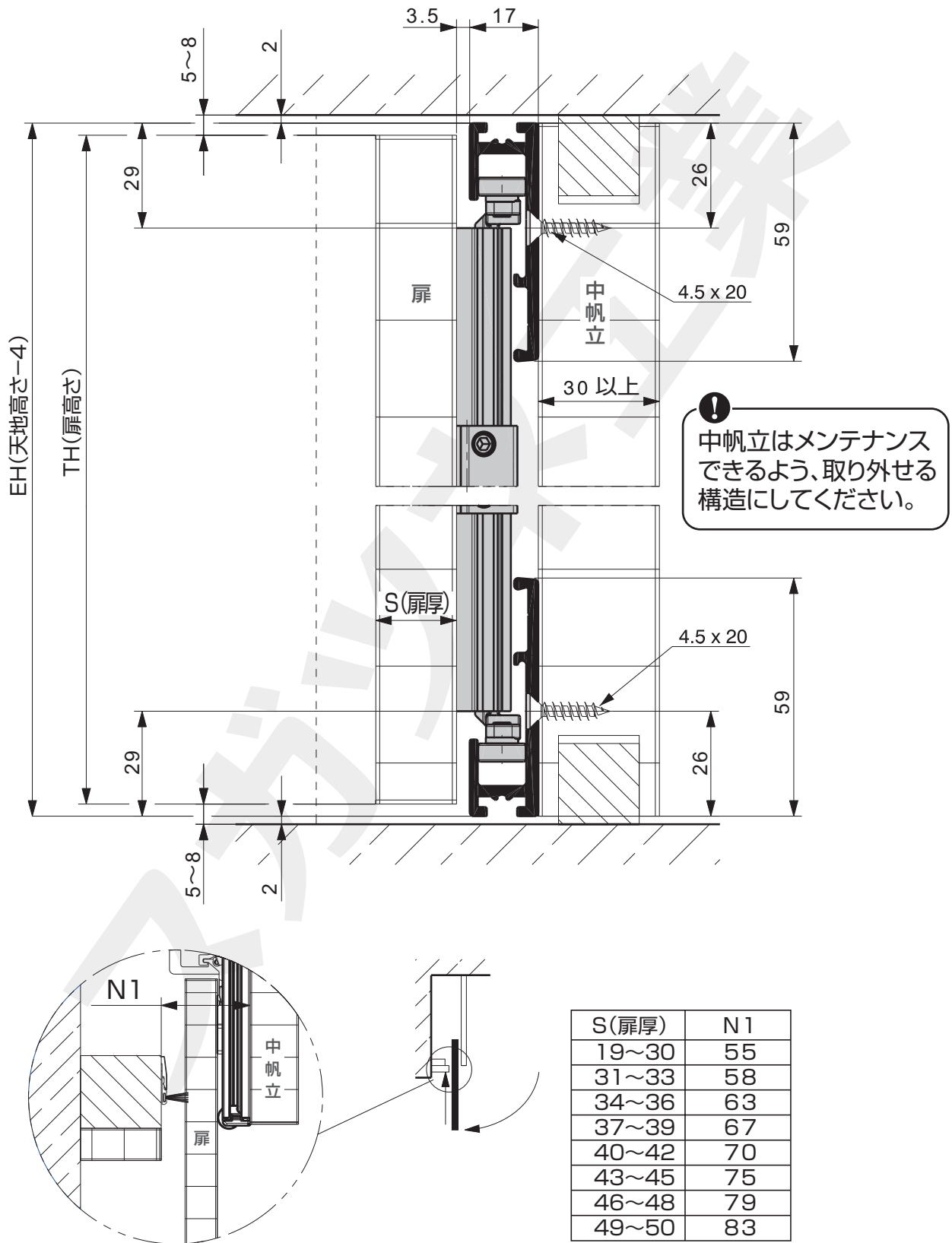
❗ 側板(キャビネット)はメンテナンスできるように、取り外せる構造にしてください。

連結ブラケット(オプション)使用
(23223)
(23224)



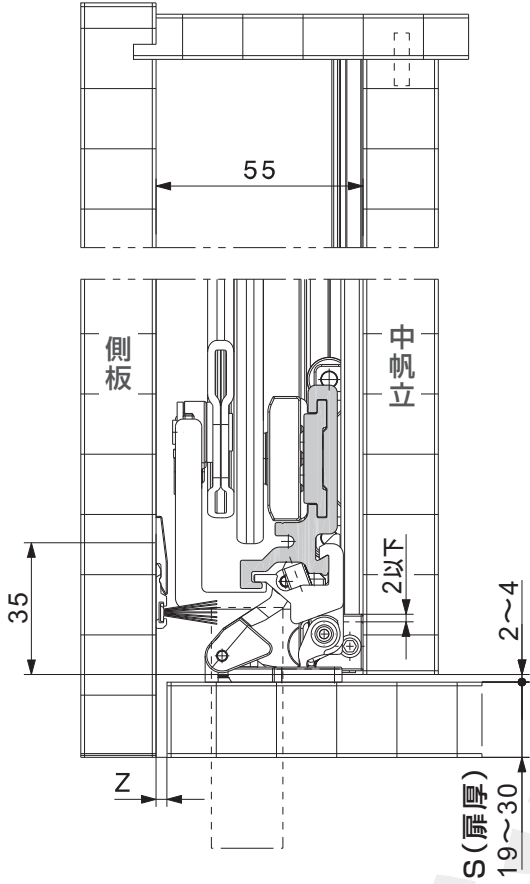
H A W A - コンセプタ 25/30 (木扉用)

建築空間に直接取り付ける仕様

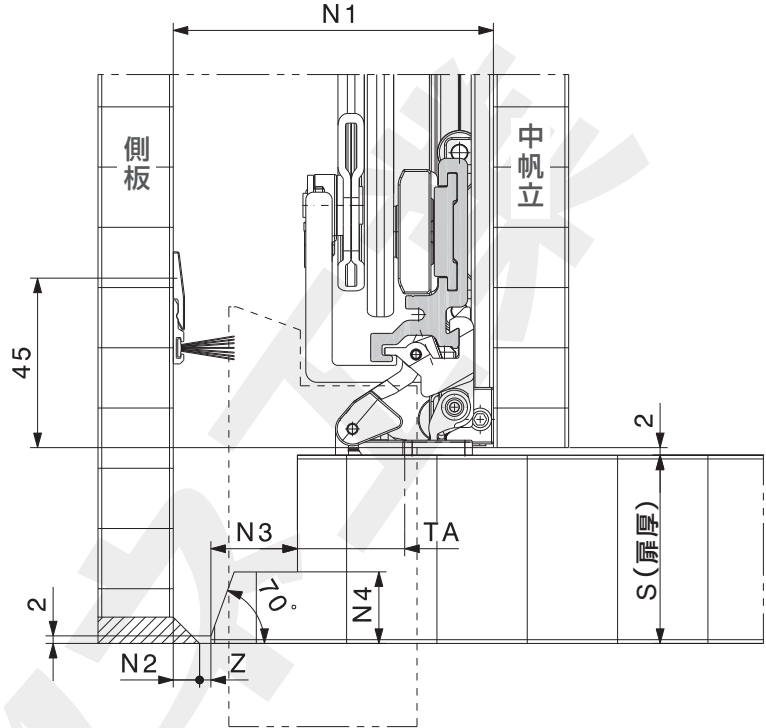


扉およびキャビネットの設計

扉厚19~30 mmの場合

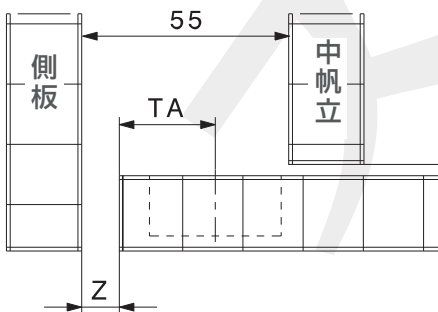


扉厚31~50 mmの場合

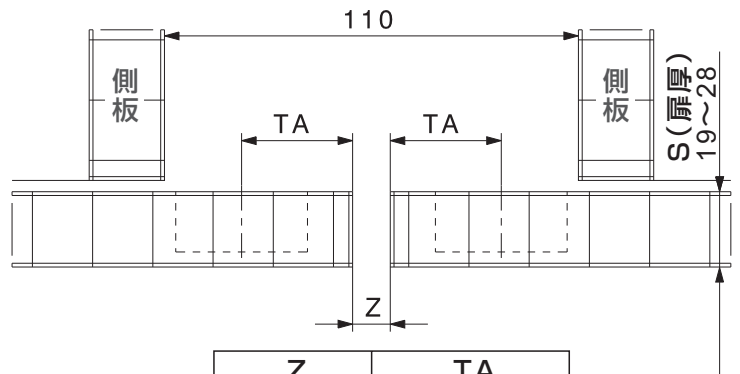


(単位mm)

S 扉厚	N1	N2	N3	N4
19~30	55	0	0	0
31~33	58	0	3	3
34~36	63	2	6	5
37~39	67	3	9	8
40~42	70	3	12	11
43~45	75	5	15	14
46~48	79	6	18	17
49~50	83	7	21	19



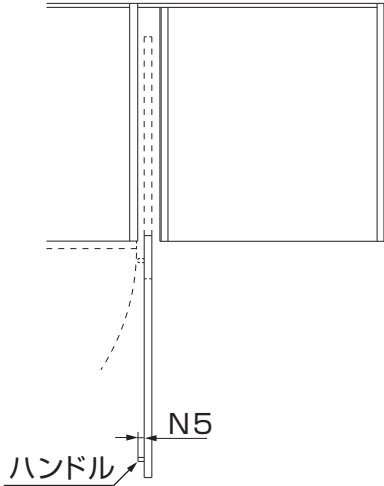
Z	TA
2	28
3	27
4	26
5	25



Z	TA
3	28.5
4	28
5	27.5
6	27

扉およびキャビネット各寸法の関係、条件

別の開き戸に隣接する場合のハンドル制限寸法

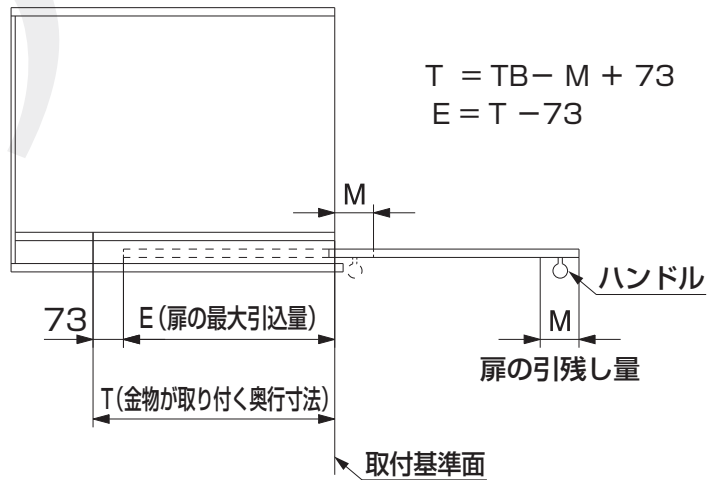
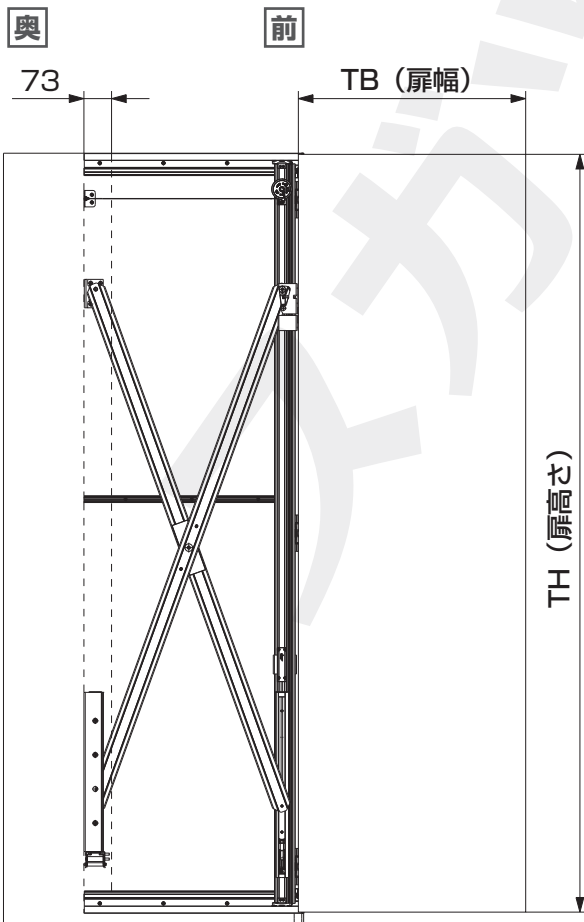


(単位mm)

S(扉厚)	N5
19	13.5
22以下	10
25以下	5
50以下	2

N5 = ハンドルの最大高さ

扉の大きさ、質量の目安



$$T = TB - M + 73$$

$$E = T - 73$$

(単位mm)

	TH	T	E
コンセプタ25	1250 ~ 1850	650 以下	300 ~ 577
コンセプタ30	1851 ~ 2300	900 以下	300 ~ 827

金物の取付基準面はキャビネット前面です。
奥行が浅いキャビネットに取り付ける場合 (TB > T)、
扉の引残し量Mは大きくなります。

扉の大きさ、質量の目安

同じ大きさでも材質、構造により質量が異なりますので、おおよその目安としてください。
 表中25または30と表記されている範囲にしてください。
 それ以上、大きい扉にしたい場合は表中の数字 (kg) の質量以下になるようにしてください。

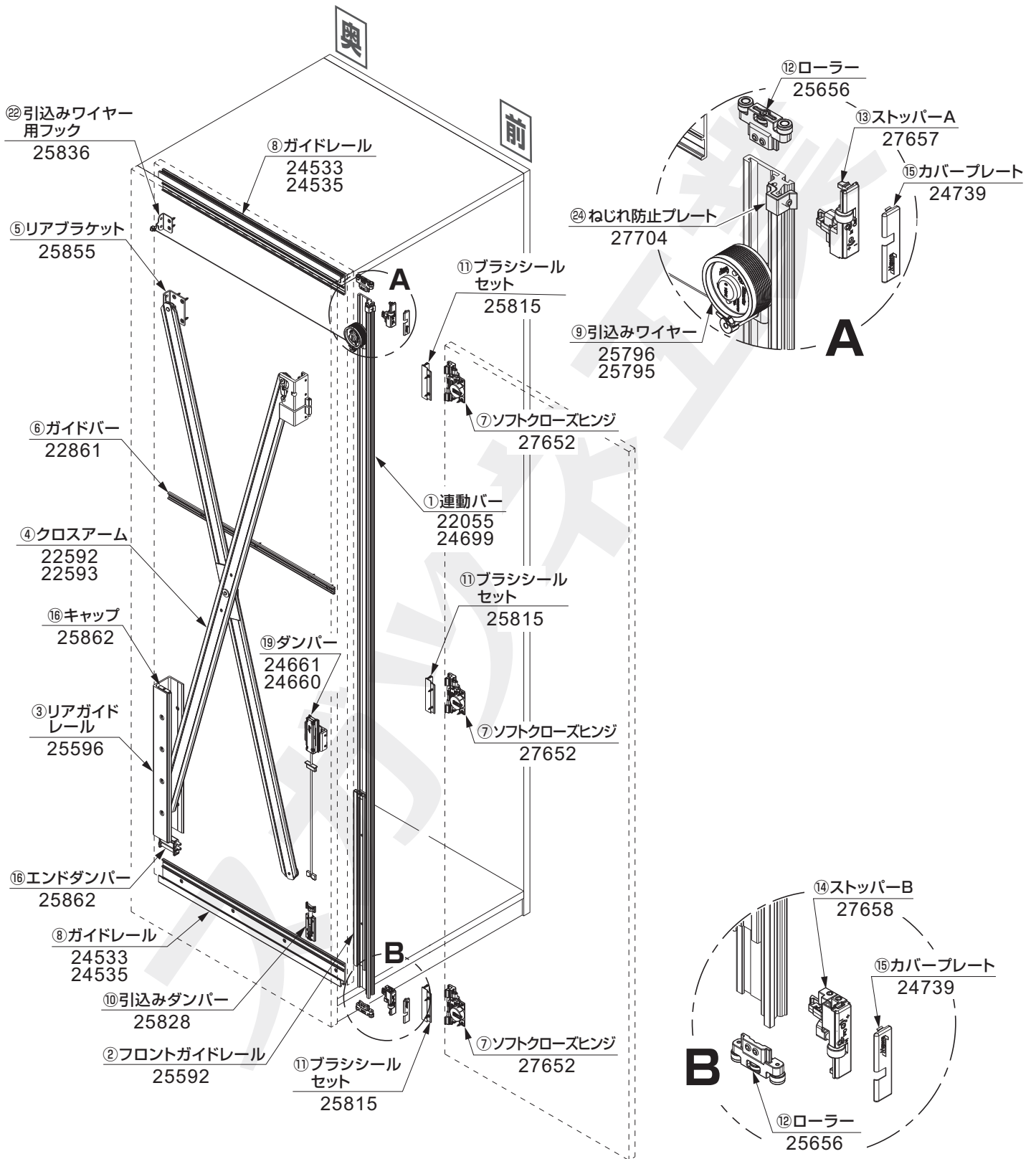
コンセプタ 25 (木製用) (単位kg)

扉幅 扉高さ (mm)	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750
1850	25	25	25	25	25	25	25	24	23	22
1800	25	25	25	25	25	25	25	23	22	21
1750	25	25	25	25	25	25	24	22	21	21
1700	25	25	25	25	25	25	24	21	21	20
1650	25	25	25	25	25	25	23	21	20	19
1600	25	25	25	25	25	24	22	20	19	18
1550	25	25	25	25	25	24	21	19	18	18
1500	25	25	25	25	25	23	21	18	18	17
1450	25	25	25	25	24	22	20	18	17	16
1400	25	25	25	25	24	21	19	17	16	15
1350	25	25	25	24	23	21	18	16	16	15
1300	25	25	25	24	22	20	18	15	15	14
1250	25	25	24	23	21	19	17	15	14	13

コンセプタ 30 (木製用) (単位kg)

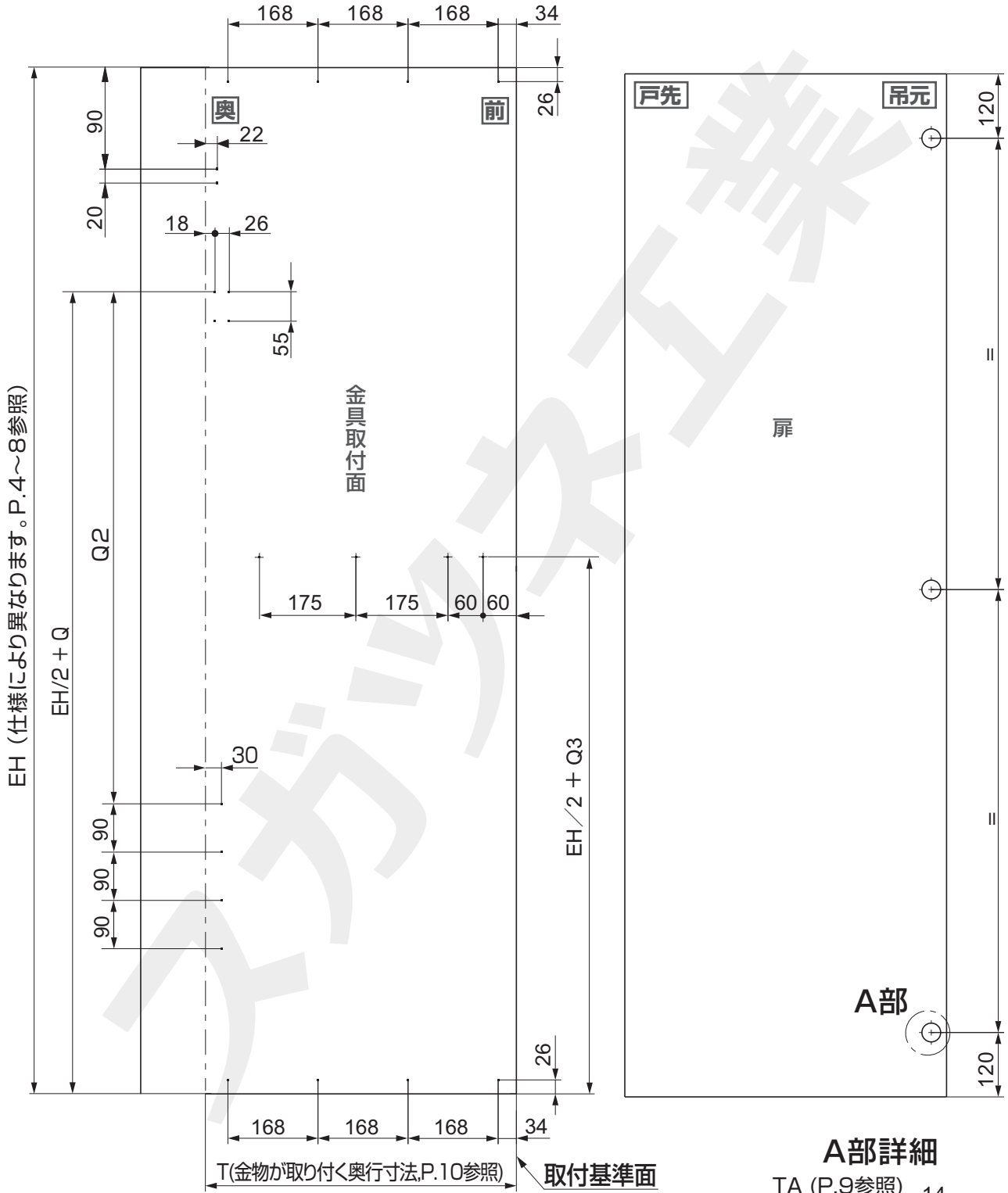
扉幅 扉高さ (mm)	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750	800	850	900
2300	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	27	26
2250	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	28	27	25
2200	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	27	26	24
2150	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	27	25	24
2100	30	30	30	30	30	30	30	30	30	28	26	25	23
2050	30	30	30	30	30	30	30	30	29	27	25	24	23
2000	30	30	30	30	30	30	30	30	29	26	25	23	22
1950	30	30	30	30	30	30	30	29	27	26	24	23	21
1900	30	30	30	30	30	30	30	29	27	25	23	22	21
1850	30	30	30	30	30	30	30	28	26	24	23	21	20

部品の取付位置



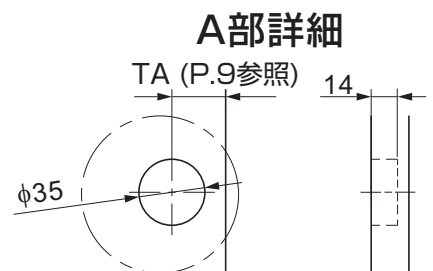
HAWA - コンセプタ 25/30 (木扉用)

金具取付面および扉への部品取付位置と加工



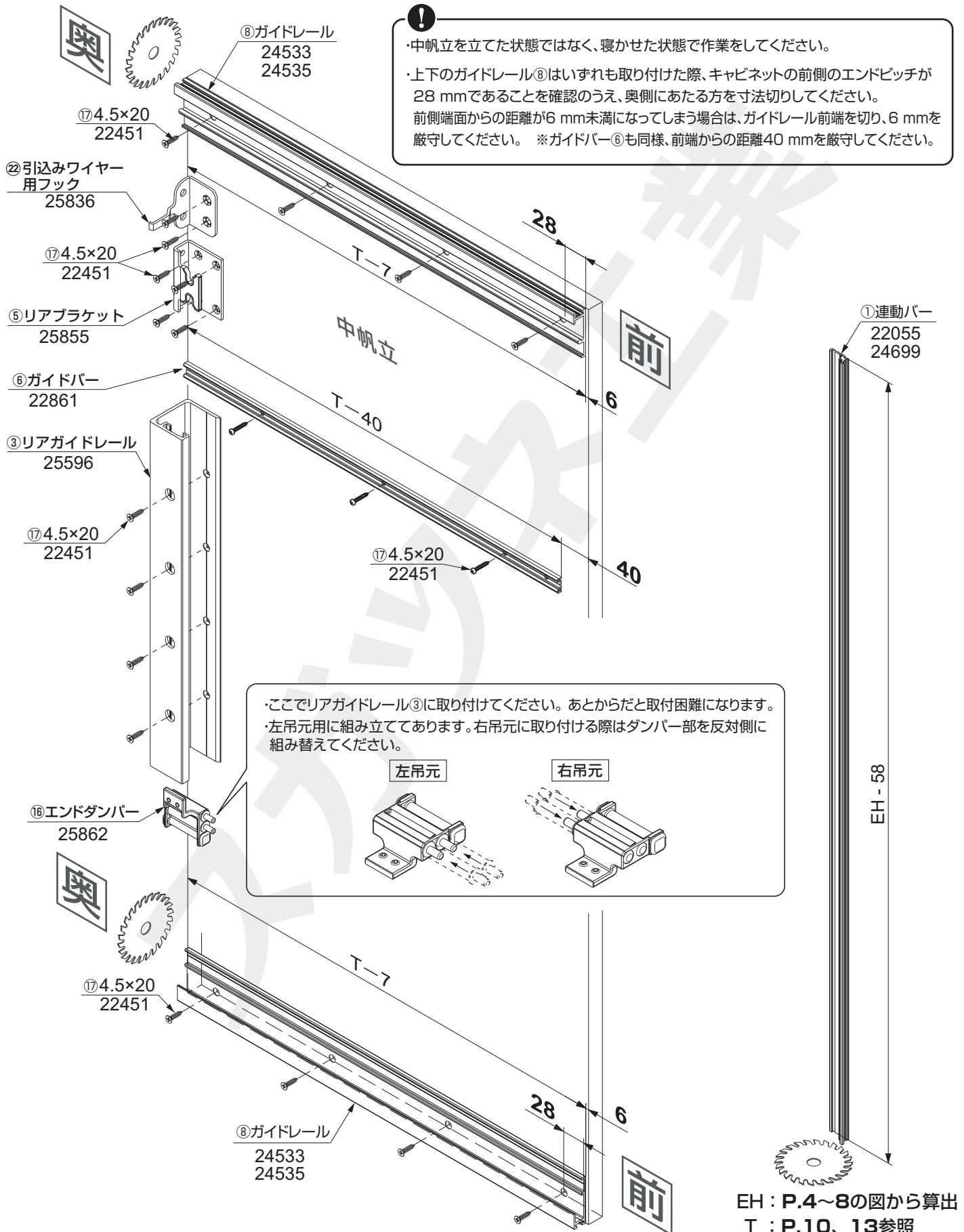
(単位mm)

	Q	Q2	Q3
コンセプタ25	370	555	-45
コンセプタ30	675	1155	90



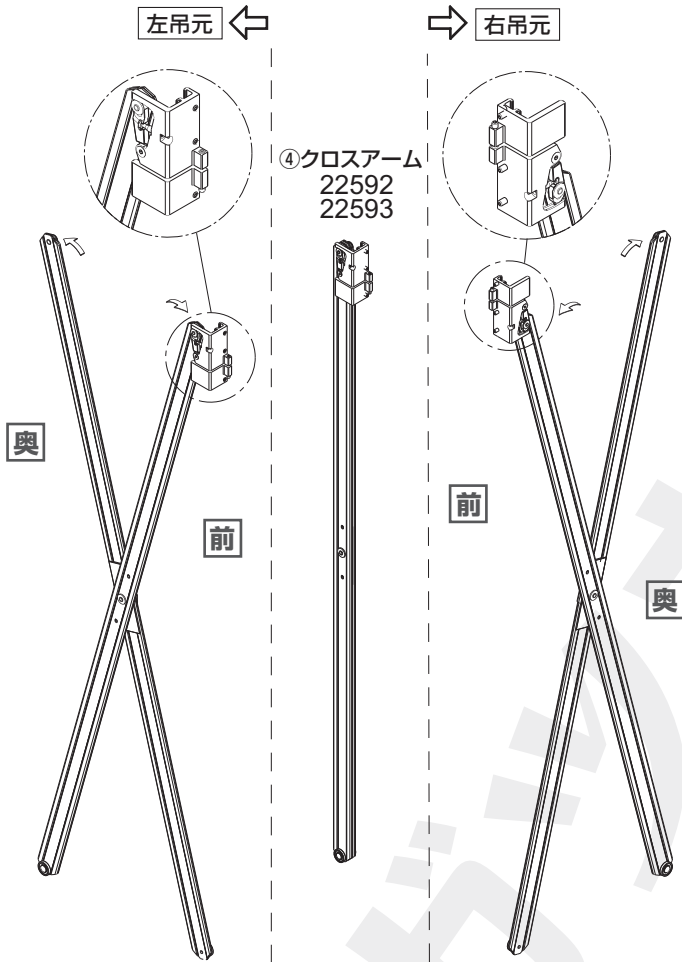
連続バーおよび上下ガイドレールの加工と組立て、取付け

連動バー①、上下のガイドレール⑧を指定に従い、寸法切りし、付属ねじで中帆立に取り付けます（取付位置はP.13参照）。

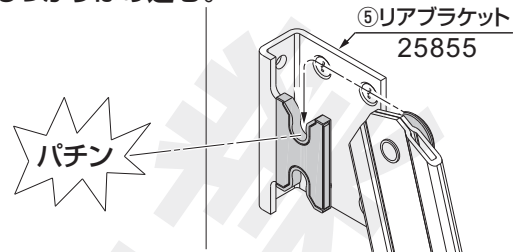


クロスアームと連動バーの組立ておよび取付け

クロスアーム④は左右共用ですが、左吊元か右吊元によって使う向きが逆になります。



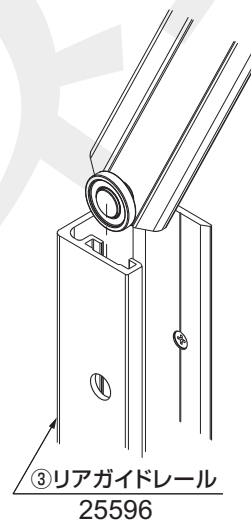
1 クロスアーム④後上部をリアブラケット⑤にしっかりはめ込む。



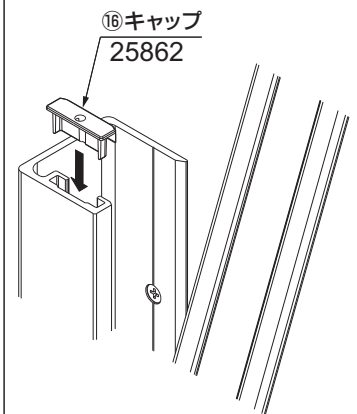
※しっかりはめ込まないと、扉開閉中に外れてしまいます。

2

〈1〉クロスアーム④後下部をリアガイドレール③に挿入する。

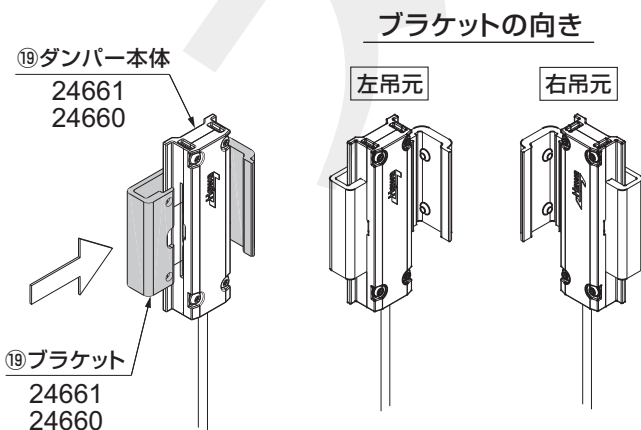


〈2〉キャップ⑬を差し込む。



3 連動バー①の組立て

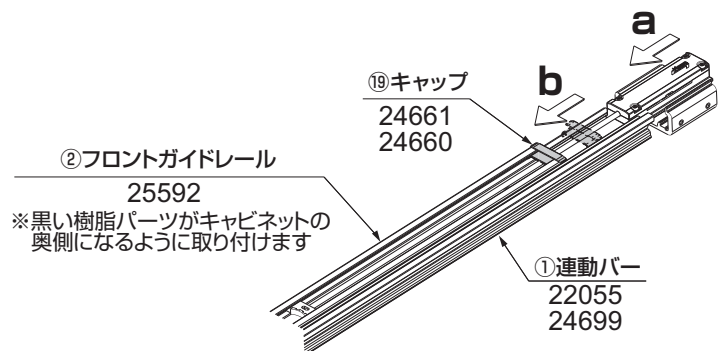
〈1〉ダンパー⑱のブラケットの向きに注意してダンパー本体とブラケットを組む。



〈2〉

(a) ダンパー⑱を連動バー①の上から挿入する。

(b) ダンパー⑱の先端をフロントガイドレール②に挿入し、ダンパーのキャップ⑱を取り付ける。



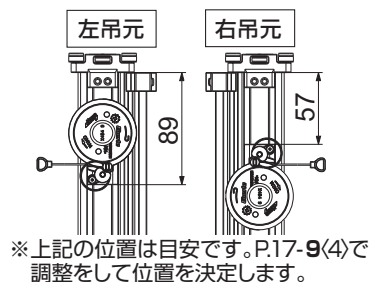
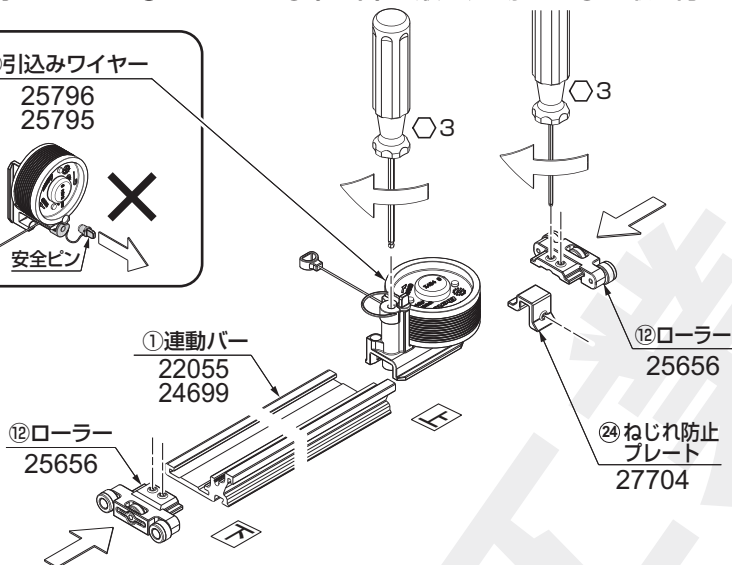
HAWA コンセプタ 25/30 (木扉用)

〈3〉引込みワイヤー⑱、ねじれ防止プレート⑳、ローラー㉑(上下)の順で連動バー①に取り付ける。

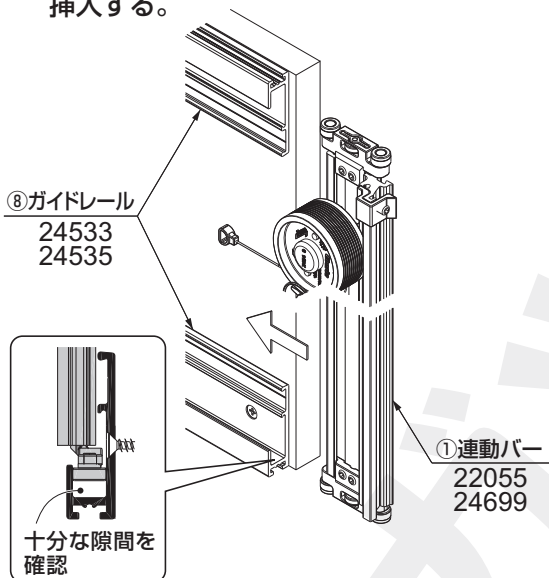
⊘ 安全ピンはまだ外さないでください。不用意に外すと、強い力でワイヤーを巻き取り、けがをしたり、引込み部品が破損するおそれがあります。

⑱引込みワイヤー
25796
25795

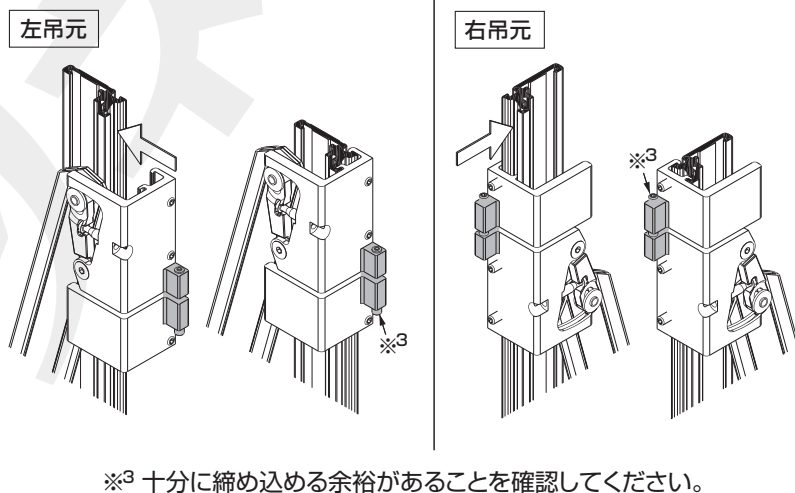
安全ピン



4 組んだ連動バー①を上下のガイドレール⑧に挿入する。



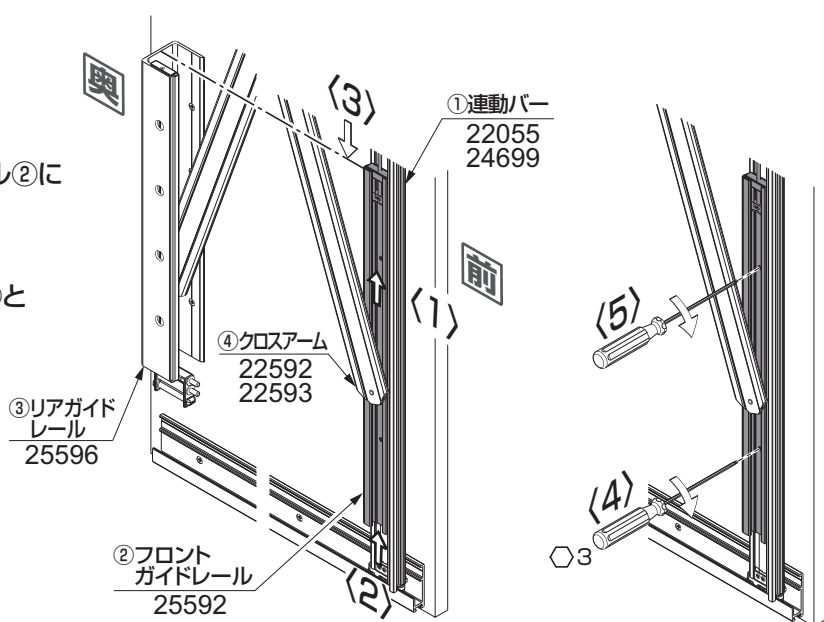
5 クロスアーム④のジョイント部(コの字型)を、連動バー①を迂回させて前側に引き出し、連動バー①の上部と組む。



6
〈1〉連動バー①内のフロントガイドレール②を一度、上にずらす。

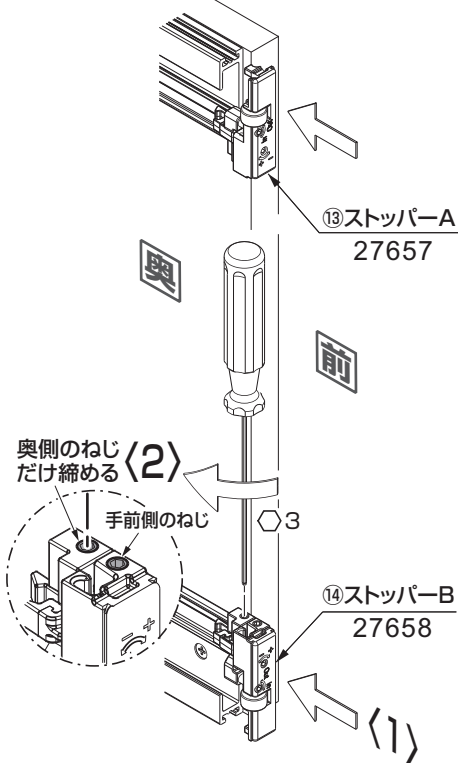
〈2〉クロスアーム④前下部をフロントガイドレール②に挿入する。

〈3〉～〈5〉フロントガイドレール②をリアガイドレール③と同じ高さに揃え、固定する。



7 ストッパーA,B⑬⑭の取付け

図は左吊元を示します。右吊元の場合は上下逆に取付けてください。

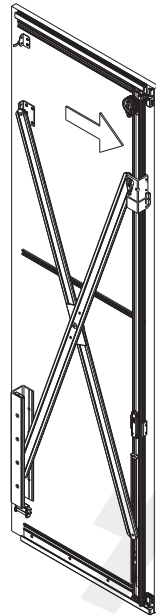


※手前側のねじは下記調整の後に締めます。
P.21-2 キャッチ力の調整、P.22-6 前後調整

8 クロスアーム④前上部を連動バー①に固定

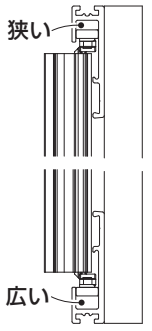
〈1〉クロスアーム④を
いっぱい引き出す。

※上下のガイドローラーを
ストッパーに当ててください。

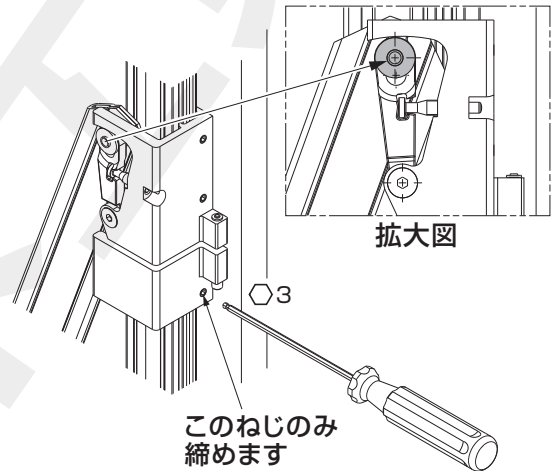


〈2〉連動バー①を高さ範囲の
上寄りに合わせる。

※扉重量による扉の垂れ下がり
を考慮し、上寄りに合わせてください。



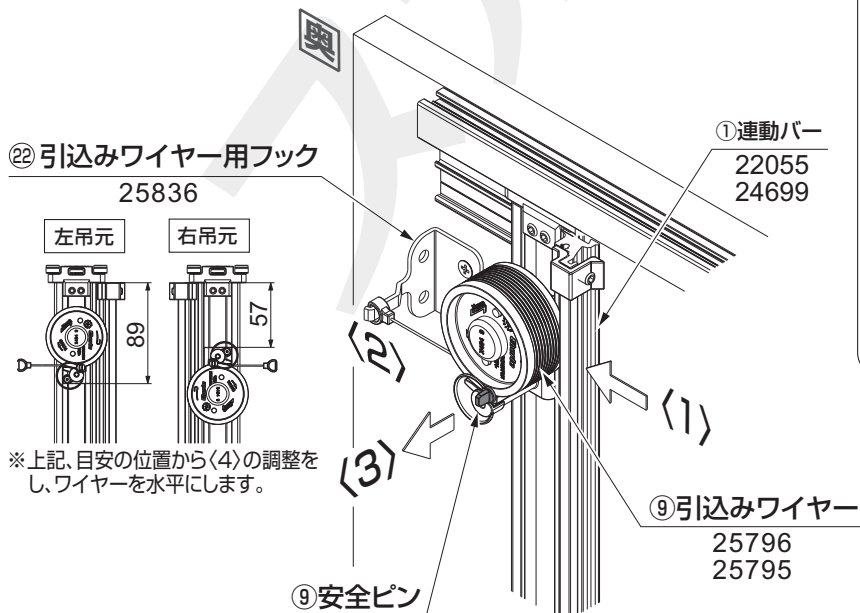
〈3〉クロスアーム④前上部を上下可動範囲の
1番下で固定する(拡大図参照)。



このねじのみ
締めます

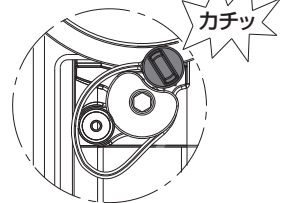
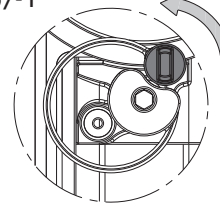
9 引込みワイヤー⑨のワイヤーをかける

- 〈1〉連動バー①を一番奥までスライドさせる。
- 〈2〉引込みワイヤー⑨のワイヤー(先端)をフック②にかける。
- 〈3〉引込みワイヤー⑨の安全ピンを'穴A'から外し、
紛失しないよう'穴B'に挿しておく。
- 〈4〉連動バー①をいっぱい引き出した際にワイヤーが
水平になるよう、引込みワイヤーの位置を調整する。

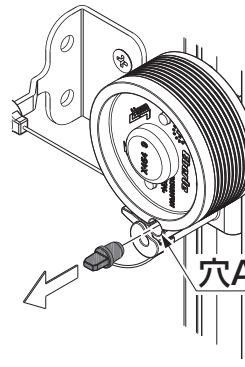


※上記、目安の位置から〈4〉の調整を
し、ワイヤーを水平にします。

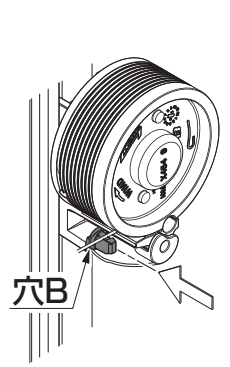
〈3〉-1



〈3〉-2

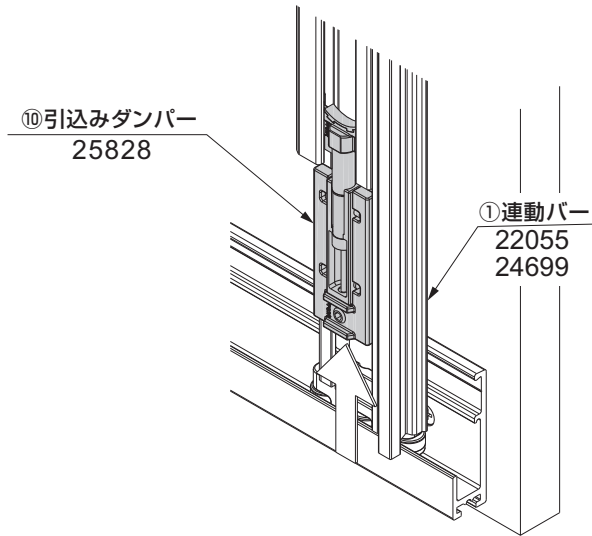


〈3〉-3

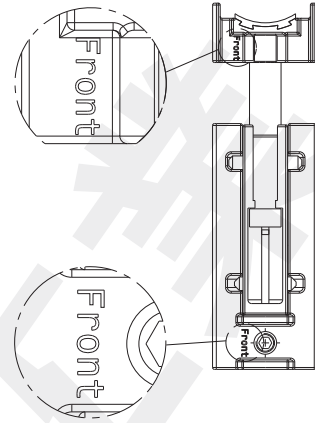


引込みワイヤー⑨は、'穴A'から安全ピンを外すと、
中の板ばねの力により、ワイヤーを引き込みます。
メンテナンス等の理由で扉を外す場合、安全ピンを
再度'穴A'に挿し込み、ワイヤーを引き込まない
ようにする必要があります(P.24参照)。

10 引込みダンパー⑩を連動バー①へ挿入

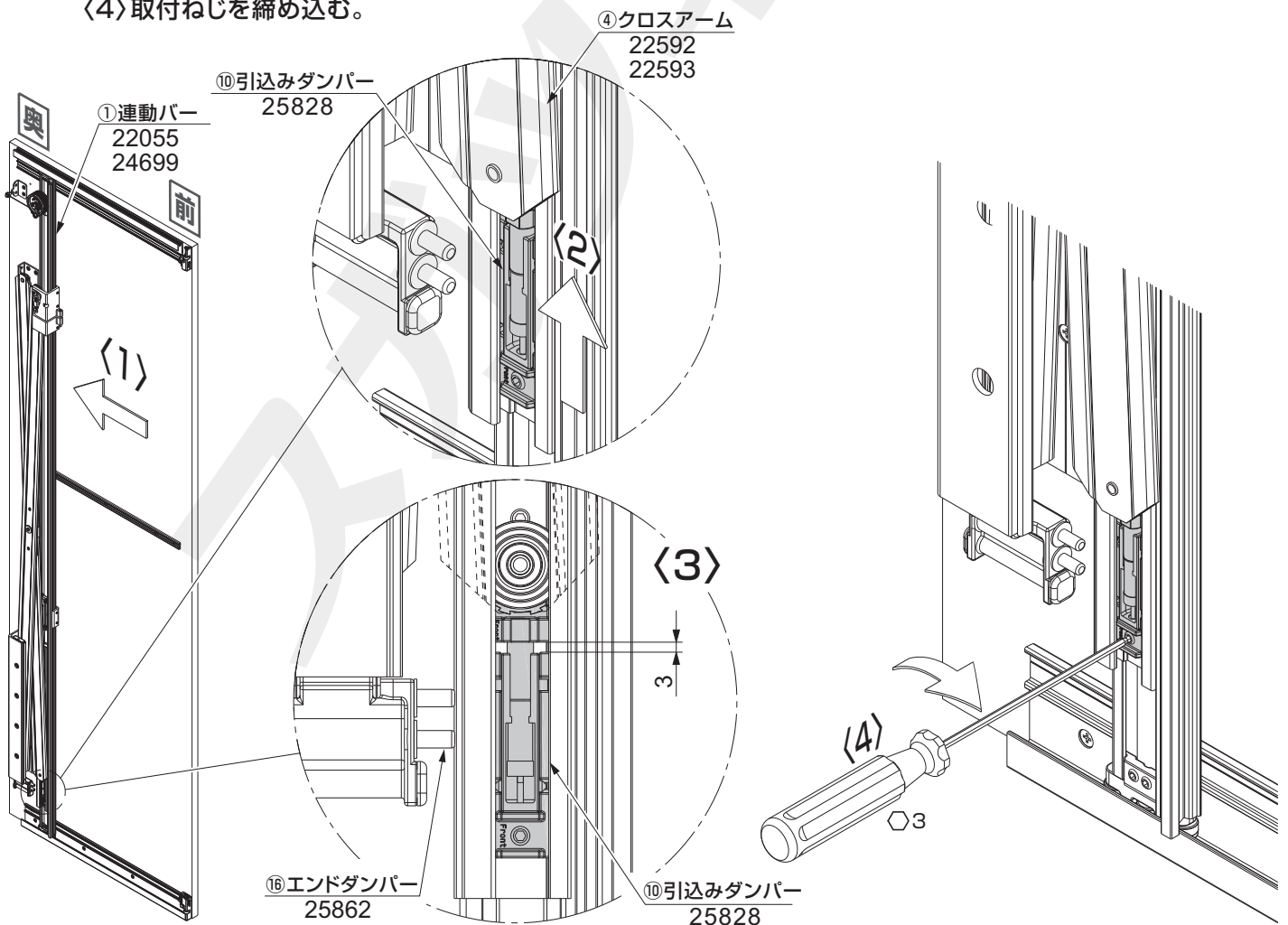


文字が見える向きで取り付ける。

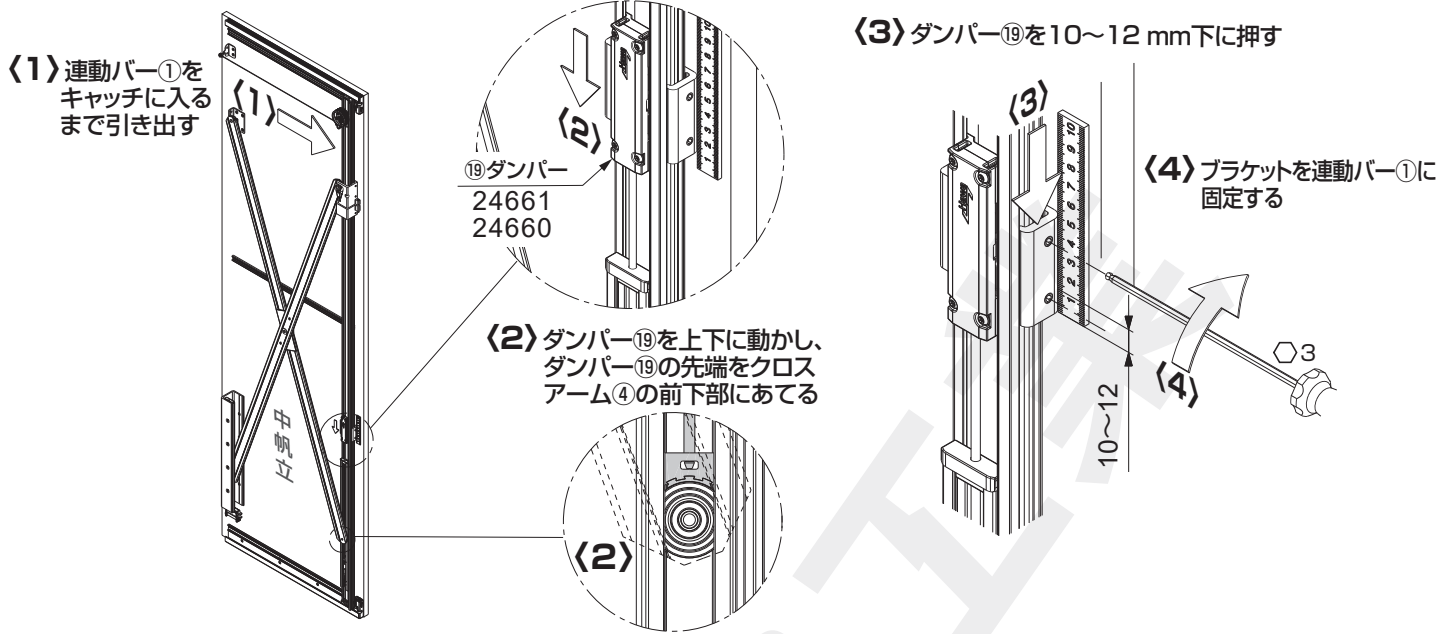


11 引込みダンパー⑩の取付け

- 〈1〉連動バー①をエンドダンパー⑬の先端に当たるまで押し込む。
- 〈2〉引込みダンパー⑩をクロスアーム④前下部のローラーに当たるまでずらす。
- 〈3〉引込みダンパー⑩をさらに上げ、シリンダー部のすき間が約3mmになるまで圧縮する。
- 〈4〉取付ねじを締め込む。



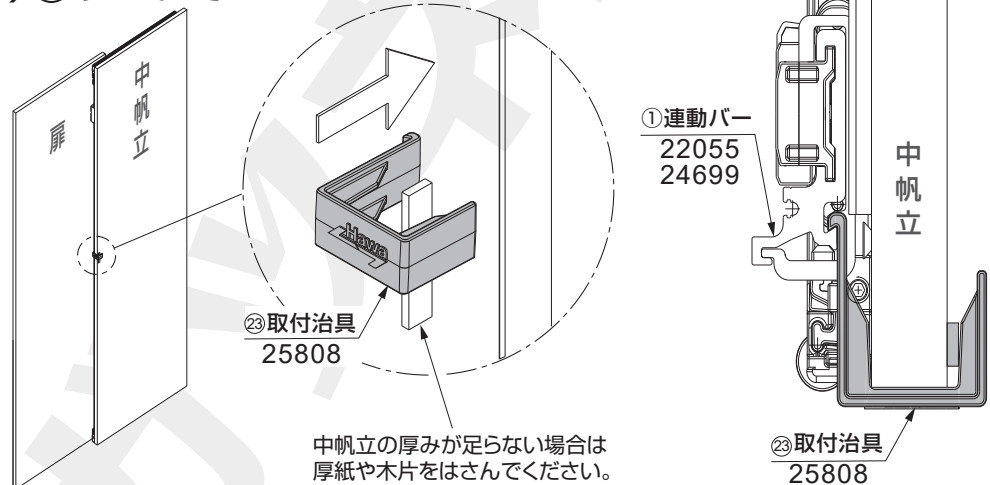
12 ダンパー⑱の位置調整・固定 ※この作業でクロスアーム④の可動域が決まります



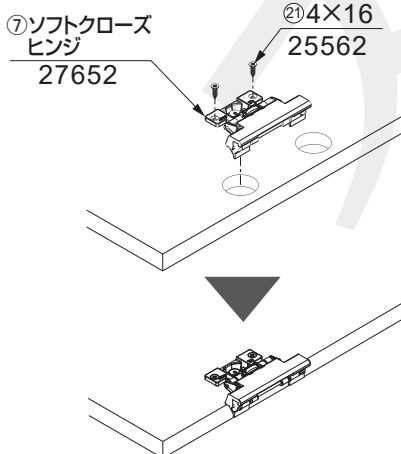
取付治具(ストッパー) ⑳ について

取付治具⑳を用いて引込みワイヤー⑨が扉を中へ引き込むのを止めることができます。

中帆立の木口部分にはめ、連動バー①に引っかけて使用してください。

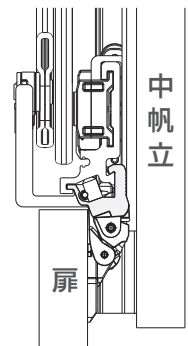
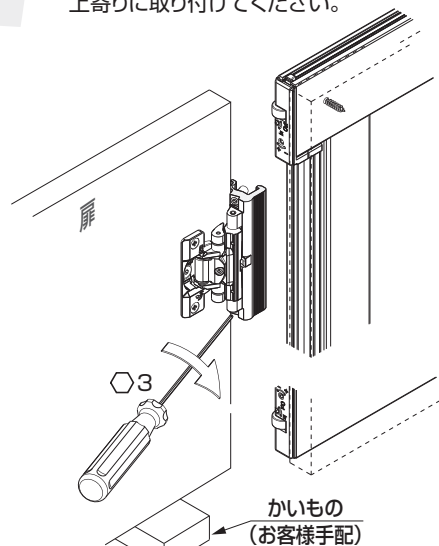


13 ソフトクローズヒンジ⑦を扉に取り付ける。



14 扉に取り付けたソフトクローズヒンジ⑦を連動バー①に取り付ける。

※扉重量による扉の垂れ下がりや上寄りを考慮し、上寄りに取り付けてください。

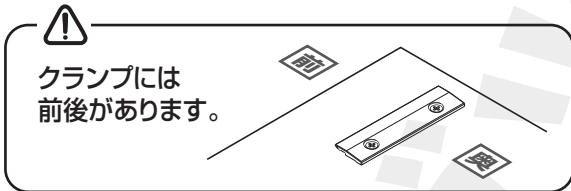
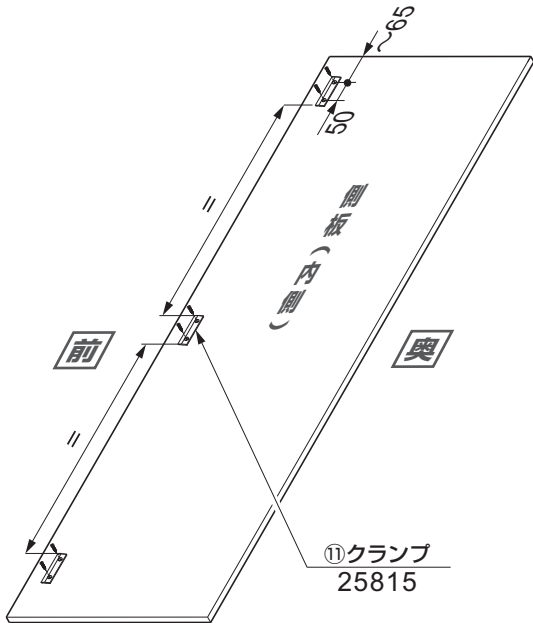


- ・取付治具(ストッパー)⑳を使用し、扉が中へ引き込まれるのを止めてから作業してください。
- ・扉の高さをきちんと調整してからねじを締めてください。
- ・ねじを締め過ぎるとソフトクローズヒンジ⑦が破損するおそれがあります。

部品を組み込んだ中帆立とブラシシールの取付け

1 ブラシシールセット①のクランプを、リアガイドレール③を差し込む場所を避けて (本ページの手順2を参照)、側板内側に等間隔で取り付ける。

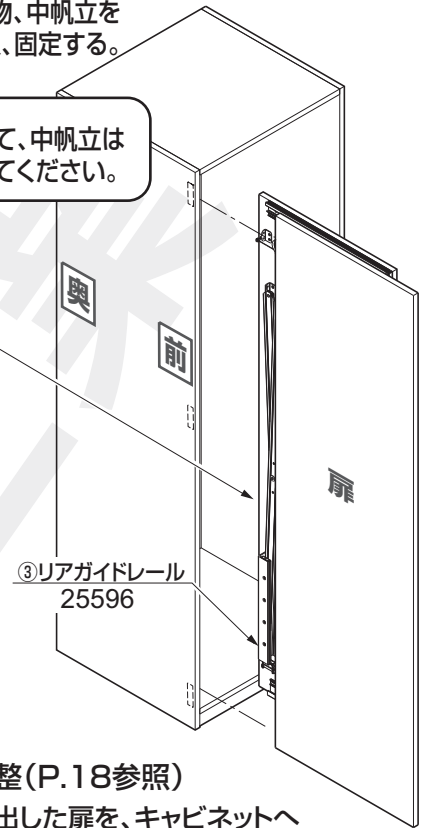
※奥行位置は本ページの手順4参照



2 <1> 組み立てた扉、金物、中帆立をキャビネットに挿入、固定する。

⚠ メンテナンスに備えて、中帆立は取り外せる構造にしてください。

⚡ 指はさみに注意
可動部分に触れないでください。



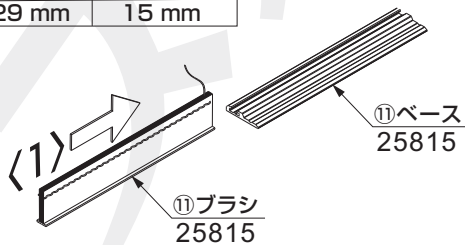
<2> 扉の引込具合の調整 (P.18参照)

キャビネットから引き出した扉を、キャビネットへ軽く押し込み、扉の引込具合を確認する。

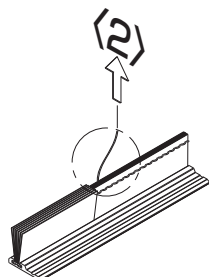
- ・扉が勢いよく引き込まれてしまう場合
→ 引込みダンパー⑩の位置を**上げて**(シリンダー部のすき間を狭くして)固定する。
- ・扉がキャビネットに入りきらない場合
→ 引込みダンパー⑩の位置を**下げて**(シリンダー部のすき間を広げて)固定する。

3 <1> ブラシシールセット①のベースにブラシを通す。ブラシは扉厚により異なります。

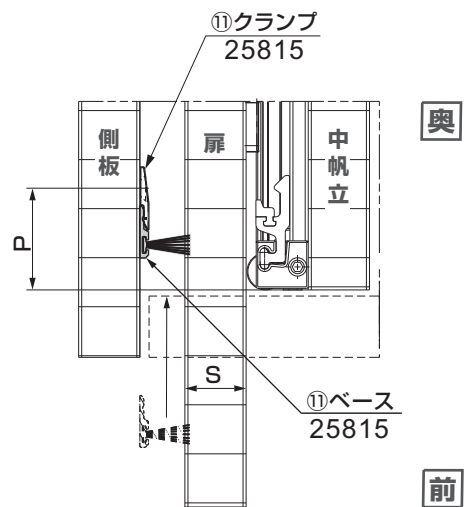
扉厚	ブラシの長さ
30 ~ 26 mm	5 mm
26 ~ 22 mm	10 mm
22 ~ 29 mm	15 mm



<2> 綴じひもを外す。



4 組み立てたブラシシールセット①のベースをクランプにはめ込む。



扉厚S = 19~30 mmの場合	P = 35 mm
扉厚S = 31~50 mmの場合	P = 45 mm

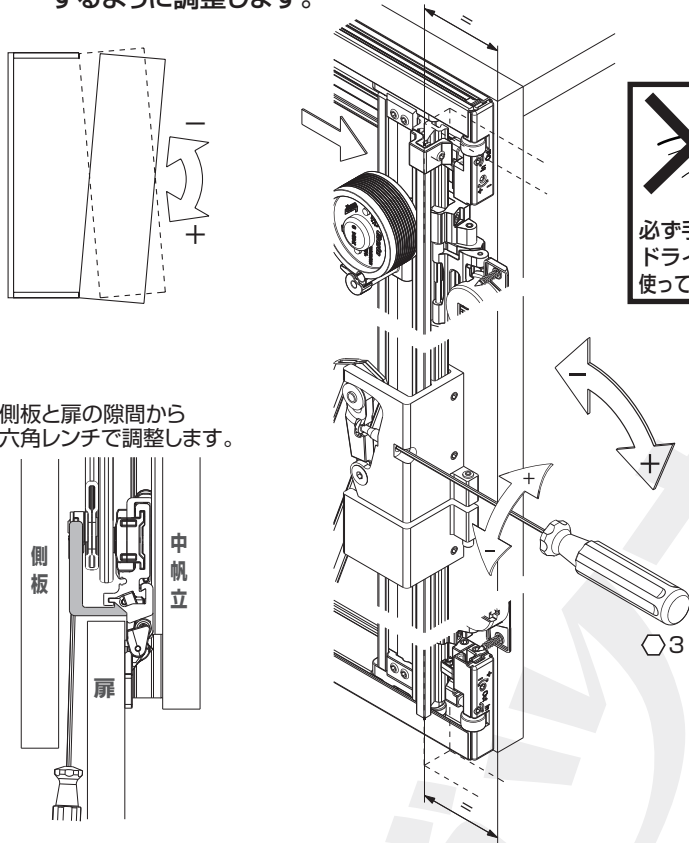
扉その他の建付けの調整

「前後傾きの調整」の手順のみ、扉厚によって異なります。

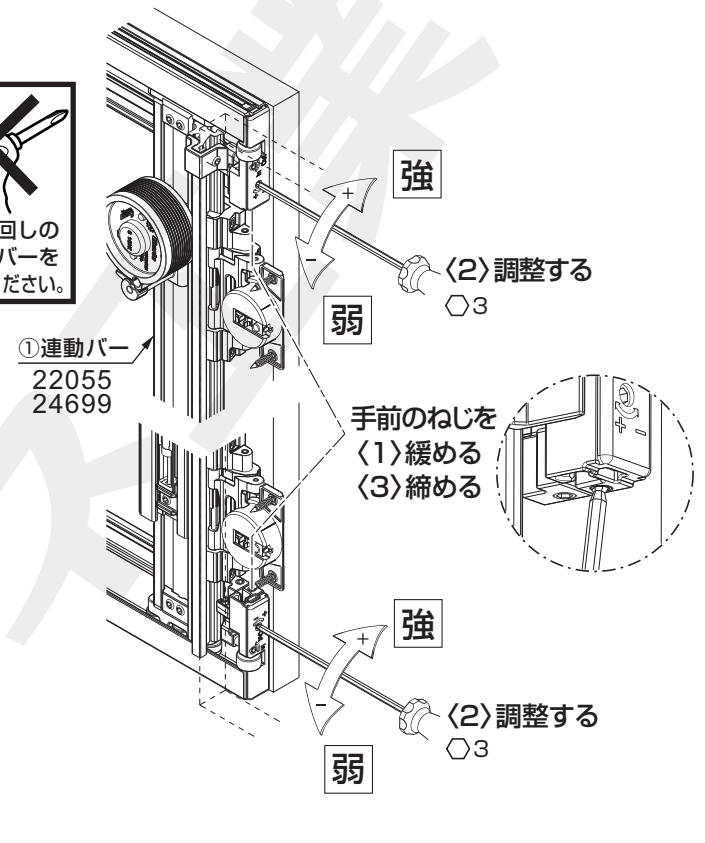
1 前後傾きの調整(扉厚 19~30 mm の場合)

(扉厚 31~50 mm の場合はP.23を参照し、扉と側板のすき間を大きくしてから調整をしてください。)

扉を引き出した際、連動バー①が上下同時にキャッチするように調整します。



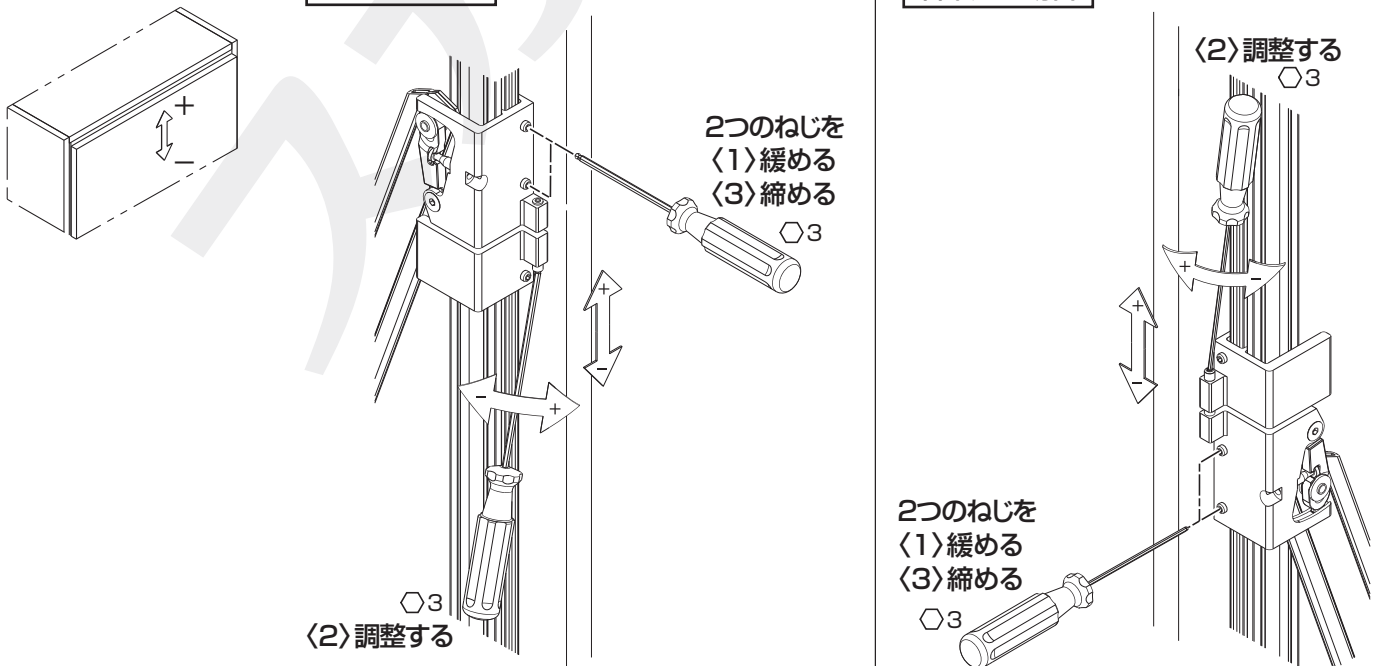
2 キャッチ力の調整



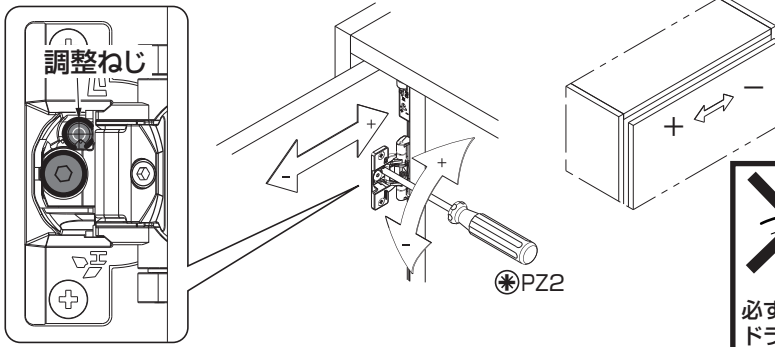
3 上下の調整

左吊元の場合

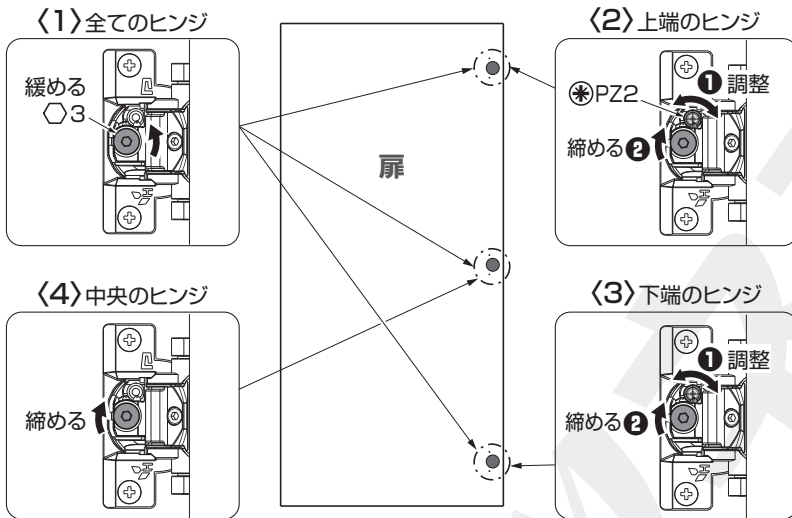
右吊元の場合



4 左右の調整



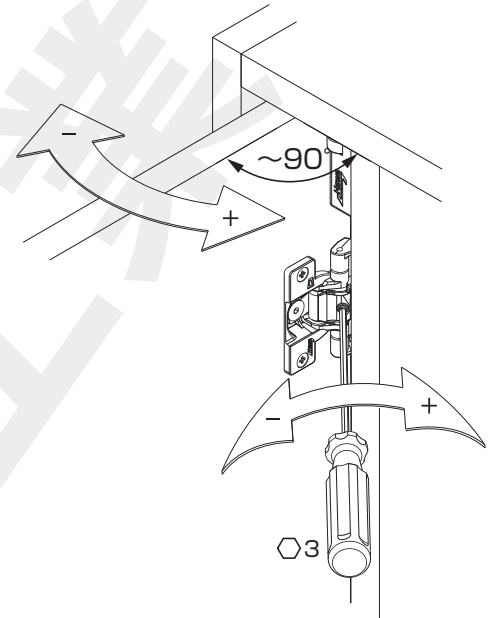
〈1〉～〈4〉の順で調整をしてください。



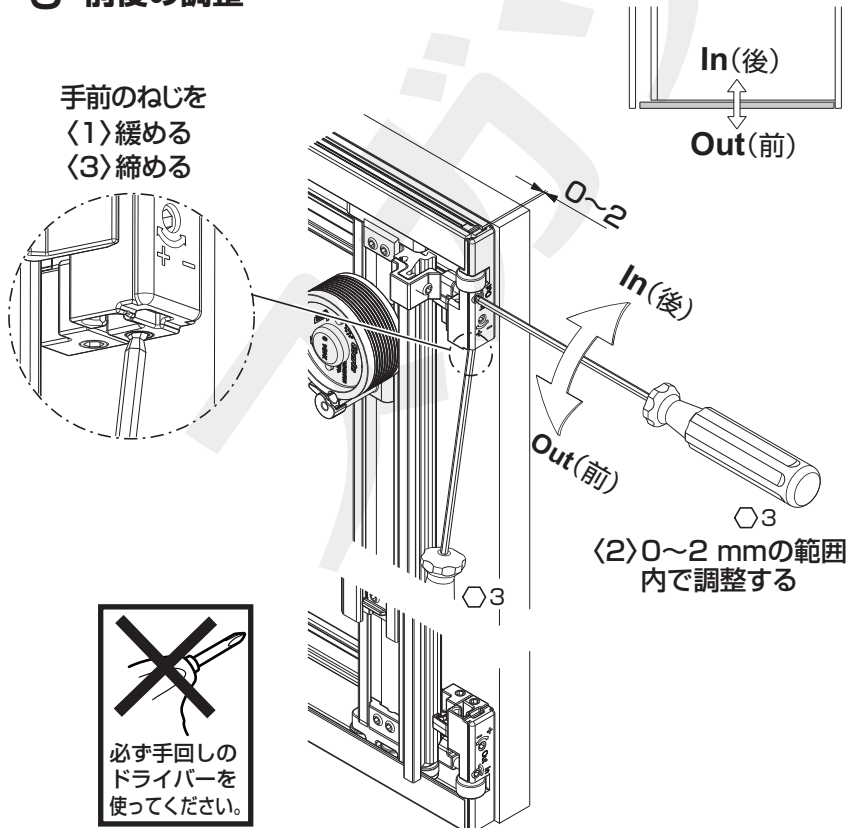
5 開き角度の調整

全てのヒンジ⑦を同じ調子に合わせて、周囲に大きく干渉しないように調整する。

目安：扉をキャビネット内へ押し込むと、ストッパー脇のローラーに扉が軽く当たるくらい

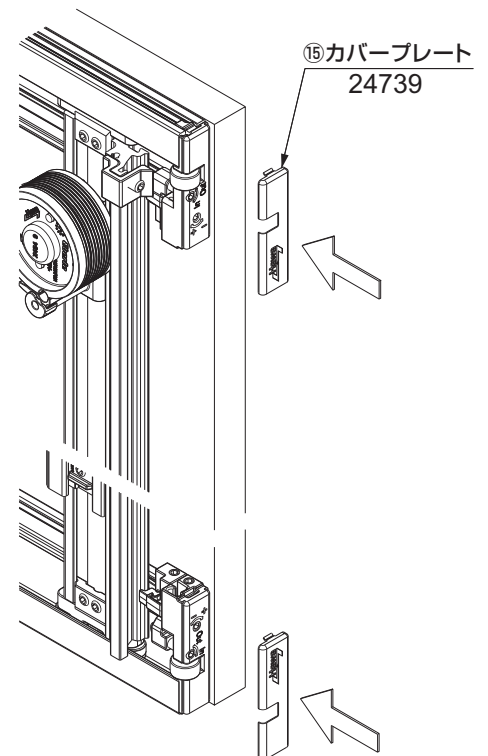


6 前後の調整



7 カバープレートの取付け

カバープレート⑮を押し当ててはめる。上下のつめが変形して引っかかりなくなった場合、指で少し曲げ直して引っかける。

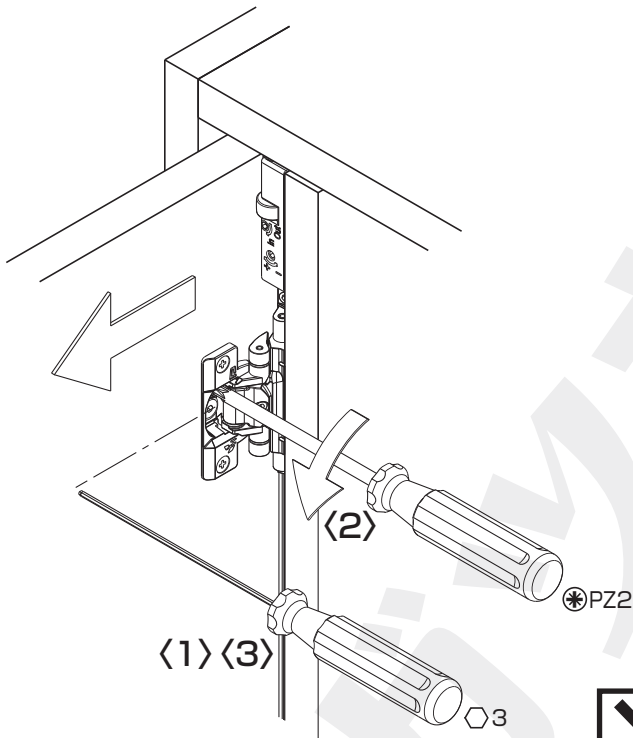


扉その他の建付けの調整

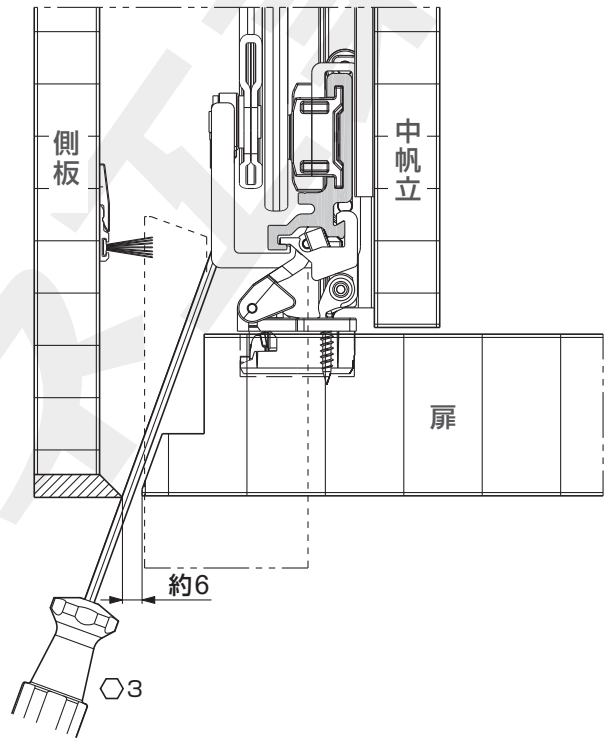
1 前後傾きの調整(扉厚 31~50 mm の場合)

扉戸側板の隙間を大きくする。

- 〈1〉ソフトクローズヒンジ⑦カップ内のねじを一旦緩める。
- 〈2〉ソフトクローズヒンジ⑦内部をいっぱい伸ばし、扉をずらす。
- 〈3〉ソフトクローズヒンジ⑦カップ内のねじを仮止めする。



- 〈4〉大きくした隙間から工具を挿入し、前後傾きを調整する。

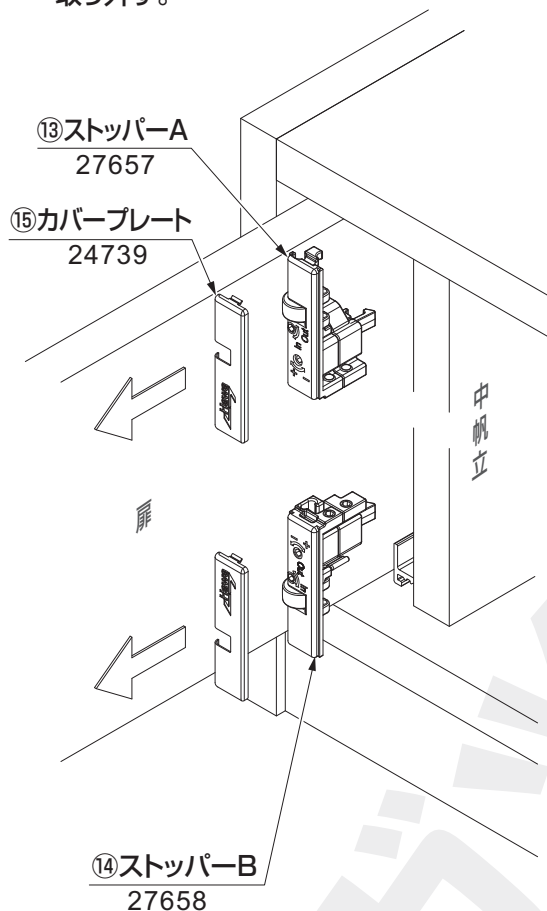


- 2 キャッチ力の調整
- 3 上下の調整
- 4 左右の調整
- 5 開き角度の調整
- 6 前後の調整
- 7 カバープレートの取付け

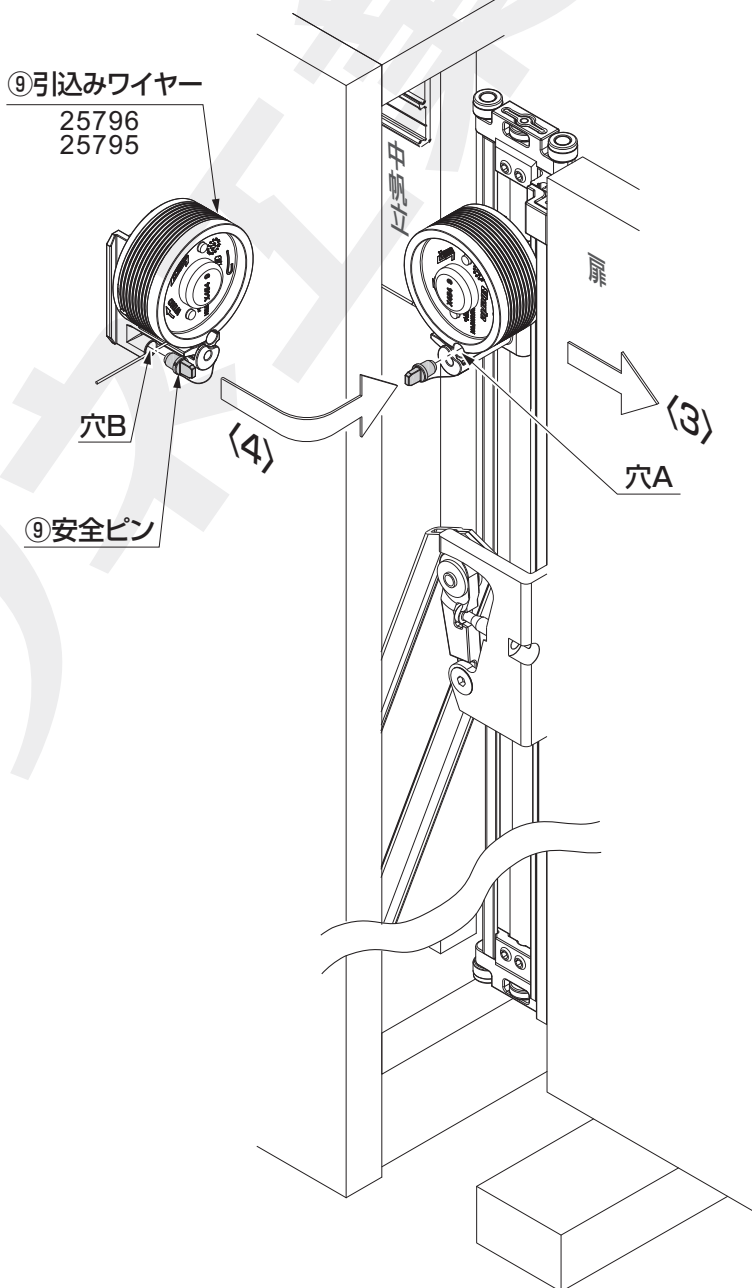
扉厚 19 ~ 30 mm の場合と同じです。
P.21 ~ 22 を参照して作業をしてください。

扉の外し方

- 〈1〉扉を引き、連動バー①を手前へ引き出す。
- 〈2〉カバープレート⑮とストッパーA,B⑬⑭を取り外す。



- 〈3〉扉を引き出す。
- 〈4〉ワイヤーが引き込まれないよう、引込みワイヤー⑨の安全ピンを'穴B'から外し、'穴A'へ挿す。
- 〈5〉中帆立を取り外し、引込みワイヤー⑨のワイヤーの先端を、引込みワイヤー用フック⑳から外す。



本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL:03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail : support@sugatsune.co.jp

2021.12 0569-14